

2012年

No.96

発行者

社会福祉法人健康の森学園

発行責任者 真鍋衛施設長

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

すずらん



夏の集い

工賃増額に向けて

施設長 真鍋 衛

酷暑がようやく峠を越えたのか、朝と晚はいくらか過ごしやすくなってきましたが、日中は相変わらず暑くて早く涼しくなってほしいものだと思います。そのような暑い毎日が続く中で、「熱中症に気をつけよう」を合い言葉に、各訓練班の皆さんは作業に頑張っています。

さて、今年の新しい取り組みとしては、地元
の農家との契約による米作りとウエスの袋詰め
作業を試験的に行っています。

地元の農家との契約による米作りでは、「田んぼを荒らしたくないので米を作りたいが、年齢的に自分ではできないので、約3反の田んぼで米を作ってほしい。」と近所にある農家からの依頼を受けて行っています。イノシシの被害が想定されるので、田んぼの周囲にトタンを貼ったりしなければなりません。地域農家の支援と工賃増額を目指して取り組んでいます。

また、ウエスの袋詰め作業では、障害者職業センターから入ってきた話が元で取り組んでいます。下着のシャツなどに裁断された残りの布切れを利用するもので、洗濯して乾燥させた布切れをウエス（油污れの拭き取りなどで使う）として出荷しています。外気温が高い中、さらに高温になる乾燥機が稼働している室内で「暑さ寒さも彼岸まで」を願いながら汗だくで頑張っています。

「山のあなた」はカール・ブッセの有名な詩ですが、山の作業で流した汗の分だけより「幸」（さいはひ）に近づいてほしいと思います。

～ 健森ファイル ～



オリエンテーリング (4月29日)

交流を
深めました



田植え祭 (5月25日)

秋にはいっぱい
収穫できますように



メダルとったど〜

障害者スポーツ大会



けっこうな
お手まえて

野点 (6月16日)



夏の集い (8月11日)

焼きトウモロコシ
いかがですか?



森の音頭を
おどりました

運動会 (9月15日)



なるほど
勉強になるなあー

椎茸栽培の研修 (8月30日)



今年度から
新しい作業を始まりました

ウエス作業

地域生活移行コーナー

グループホーム体験

- ごはんがおいしかったです。
- おふろにひとりではいりました。
- バスにのるのがむずかしかったです。
- りんさんはんへのじっしゅうで、きはこびをしました。

(桃井稔宏)

グループホーム体験

グループホームのご飯はとてもおいしかったです。

ぼくもしょうらいグループホームでせいかつしたいです。

(石我 拓)



就職が決まりました!!

9月に「ライフケアももその」就労継続支援事業所A型（就労もも）に就職が決まりました。仕事の内容は、特設養護老人ホームの中の清掃を行います。実習では上手でしたが、さらに技術的なことを学んで出来ることを増やせたらと思います。そして、一般就労に向けてもう一步頑張ります。また、ももそのグループホーム（サニーサイド）で新たな生活を楽しみたいと思います。みなさんも一般就労できるように頑張ってください。

(山崎俊樹)

グループホーム新設 (あじさいハイツ)

新見市高尾に新しいグループホーム（あじさいハイツ）ができました。4月から4名の利用者が生活しています。2名は一般就労しており、2名は学園の就労継続支援事業所に通っています。今では地域の生活にも慣れ、それぞれのライフスタイルを楽しんでいます。



グループホームの 学習会に参加して

私はグループホームってどんなところって思いました。グループホームはすてきなことができるって聞きました。でも、自分でお金を払ったり、自分のことは自分ですることなど大変なことも。私は学園を出て、地元のグループホームに行く予定です。グループホームにいけるようにこれからも頑張ります。

(井上明美)



入所・退所された利用者

入所者

山本 太一さん (四月) 支援学校より
 稲岡 菜摘さん (四月) 支援学校より
 長江 千里さん (四月) 支援学校より
 河原 千鶴さん (七月)

退所者

林 裕平さん (四月)
 新見市養護老人ホームなごみへ就職
 藤井 彩加さん (四月)
 就労継続支援事業所A型

北川 敏男さん (四月)

健康の森学園支援学校事務職へ就職(臨時採用)

山中 勇さん (四月)

健康の森学園支援学校事務職へ就職(臨時採用)

原野 直樹さん (四月) 作業所ほけつと

三宅 儀政さん (四月) 住倉学園へ

桐生 直哉さん (七月)

地域支援センターグリーンファームへ就職

山崎 俊樹さん (九月)

ももその就労継続支援事業所A型

(就労センターもも)へ就職

入所者の声

四月からの作業で良かったことは作業に慣れたことです。寮での生活で良かったことは寮の生活に慣れたことです。色々な思いは皆と仲良くすることです。私の一番の思い出は、田植え祭で田綱を持ったことです。

稲岡 菜摘

平成二十四年度

手をつなぐ育成会岡山県大会

(倉敷大会) 会長表彰

○事業所勤務者 (勤続五年)

太田健二 丸紅畜産株式会社
 榎原正人 シーアイ化成株式会社
 関本賢二 丸紅畜産株式会社
 田淵真一 有限会社 哲多和牛牧場
 新田孝志 介護老人保健施設くろかみ

○施設職員 (勤続十年)

定岡眞理子
 田邊康治
 福本剛広

サービス向上委員会

平成二十四年度 苦情受け付け状況

○他の利用者に対するもの……………九件

・嫌なことを言われる

・さわがしい 等

○職員に対するもの……………四件

・話されたことに納得できない 等

○設備・備品に関するもの……………八件

・破損した箇所がある 等

※受け付けた苦情は適切に対応し、解決に努めています。

第三者委員会

七月十四日、第三者委員会が開催されました。施設内の苦情解決状況や職員のサービス評価結果をもとに改善点をアドバイスしていただきました。その後、相談会を行い、利用者・保護者から相談を受けました。今後も相談会を定期的に行っていく予定です。

利用者の趣味 (習字)



河原千鶴さん作

編集後記

先日研修があり、こころに残った印象的な言葉があります。「障害」とは、その人自身に障害があるのではなく、地域社会の仕組みやその地域社会をつくってきた人たちの意識(こころ)の中にこそ真の「障害」が潜んでいる、という言葉です。人として、福祉職員として、この言葉をしっかりと受け止め、自分に出来ることから行動していけたらと思います。

広報担当